

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

社会福祉法人 協同福祉会	代表者 大國康夫	基本目標 お年寄りから子どもまで、みんなが安心して暮らせる地域や町であって欲しい。 それが、私たちの願いです。 独居高齢者が多い地域ですので、「あすなら10の基本ケア」を活用し、住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援します。
あすならホーム天理 多機能型ケアホーム	管理者 廣瀬 壮啓	

市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
5人	人	人	0人	2人	1人	0人	16人	0人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員で取り組むことができ、「出来ていない」を改善し「出てきている」になるよう取り組みます。	大きな改善はできませんでしたが、全体として「出来ている」が増えました。	職員の評価だけでなく利用者の意見も記載があるとより分かりやすいのではないのでしょうか。	次回より利用者の方にも参加してもらい意見を記載できるようにします。
B. 事業所のしつらえ・環境	入口周りを綺麗にしてご家族、地域の方が入りやすい、環境を整えていく。来苑された方には全員が笑顔で気持ちのいい挨拶をします。	職員の紹介用パネルをリニューアルしました。玄関は常に綺麗になるよう、清掃に努め、笑顔での挨拶を心がけています。	日中・事業所の門や玄関を施錠していないことはわかりました。玄関の中の様子も見ることができてわかりました。	入口周りを綺麗にしてご家族、地域の方が入りやすい、環境を整えていく。来苑された方には全員が笑顔で気持ちのいい挨拶をします。
C. 事業所と地域のかかわり	サロンを再開し地域のお年寄りが集まれる場所となるようにします。地域行事に参加し、住民と顔をつなげていきます。	サロンが再開でき、地域のお年寄りとの交流もできています。地域行事へは回数ですが、利用者さんと一緒に参加できました。	サロン活動について、顔見知りの人とは話しやすいがサロン活動を担当している職員の名前は知らない人もいます。	職員の名前を憶えてもらえるよううな関わりありをしていきます。困りごとなどがなければよく聞くようにします。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域に出ることを継続します。利用者さんの馴染のある場所を把握し、計画的に地域に出るようになります。	全員ではないが、計画通りの行動ができました。その場に行くことで、お年寄りの普段見れない良い表情を見ることができました。	地域の行事やイベントで参加してもらえらるものは参加してもらって大丈夫です。	地域の行事やイベントにどんどん参加していきます。イベントの情報も教えていただいで参加できるように調整します。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍で会議開催ができていなかったため、次年度より再開し、地域やご家族の意見を取り入れ地域に開けた事業所を目指します。	再開することができました。民生委員、包括の参加いただきました。地域からの意見をいただきました。ご家族の参加が少なかったです。	あすならホーム天理の存在を知らないという地域の方もまだ複数いらっしゃいます。	より地域の方に周知してもらえらるよう活動します。また、会議の場での意見をしっかりと反映させていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	火災だけでなく地震、水害想定した際に避難場所の協力も含め、地域と連携した訓練を取り組んでいきます。	地震、水害想定訓練を実施しました。合わせて、必要と思われる物品の購入もしています。地域との連携は出来ていません。	連携の面においてはまた機会を設けて調整しましょう。	地域の方にも参加してもらい引き続き訓練に取り組んでいきます。